

みんなで「こども館（仮称）」をつくろう！ キックオフフォーラムを開催！



第2部 ワールド・カフェ

第2部は、ワールド・カフェという手法を使って、参加した皆さんに「こども館（仮称）」へ期待することをお聞きしました。

【ワールド・カフェ】

ワールド・カフェとは、“カフェ”のようなくつろいだ空間の中で、参加者がルールに沿って自由に会話を行い、創造的なアイデアや知識を生み出したり、互いの理解を深めることができるという話し合いの方法です。

ファシリテーター

十時裕
福岡県まちづくり専門家
辻桂子
ReedLabo 代表

こども館（仮称）づくりの流れ

①キックオフフォーラム

②関係団体ヒアリング

③プレワークショップ

第1回「物語のはじまりはじまり」

第2回「この世界に耳をすますと」

第3回「カラダの力、アタマの不思議」

④建築デザインワークショップ

「知る」・・・期待されるもの

「考える」・・・利用イメージ

「描く」・・・プランの検討

「まとめる」・・・提案として

⑤展示公開型パブリック・コメント

⑥実践子ども学レクチャー

2012年8月4日、ミリカローデン那珂川の多目的ホールで「チーム未来NAKAGAWAキックオフ・フォーラム」を開催しました。1部のパネル・ディスカッションでは、武末町長と2人のパネラーが「こども館（仮称）」の在り方を語り合い、2部のワールド・カフェでは参加者全員で「こども館（仮称）」に望むことを話し合いました。会場には、九州大学子どもプロジェクトによって100冊あまりの絵本が展示され、お茶やキャンディを口にしながらカフェらしい和やかな雰囲気の中、活発な意見が交わされました。

*1：子どもプロジェクトは、九州大学統合新領域学府目黒研究室のプロジェクトで「子どもの感性」をキーワードに既存の学術分野を横断する実践的な子ども未来学の研究を創出しており、実践子ども学の構築、子どもの居場所づくりなどの子どもに関わる先駆的な活動を行っている。

「こども館（仮称）」それは、未来ある子どもたちや子どもを支える大人たちが集う施設。そこは、安らぎの場であり那珂川町の未来づくりの出発点。そんな創造性ある「こども館」づくりが、この夏いよいよはじまりました。でも、ステキな「こども館」をつくるには、住民や行政、建築や子どもの専門家など、大人たちが力を合せる必要があります。この「こども館」づくりでは、「チーム未来NAKAGAWA」を結成し、みんなで力を合わせて取り組めます。あなたも、このチームに参加して「こども館」づくりに携わりませんか。今回行った「キックオフ・フォーラム」は、ステキな「こども館」をつくるためのオープニングイベントです。キックオフフォーラムのあとにも、こども館での実施を想定したワークショップを実際に開催し、どんな空間が必要かを肌で感じてみる「プレ・ワークショップ」、施設に必要な要素、空間の取り方、使用する素材などについて具体的に検討してみよう「建築・デザインワークショップ」など、もりだくさんです。さあ、みんなで那珂川町の子ども未来について楽しく語り「こども館」づくりをはじめましょう。

